

## 令和5年第2回京田辺市教育委員会臨時会会議録

日 時 令和5年4月26日（水）午前10時30分 開会  
午前11時30分 閉会

場 所 京田辺市立中央公民館第3・4研修室

### 会議日程

日程第1 議案第27号 児童生徒数の偏在解消に向けて短期的に解決すべき課題への基本的な方針について

### 出席者

教育長	山岡	弘高
委員（教育長職務代理者）	西村	和巳
委員	藤原	孝章
委員	上村	真代
委員	伊東	明子

#### （事務局出席職員）

教育部長	藤本	伸一
教育指導監	上原	正章
こども・学校サポート室総括指導主事	勝又	靖志
学校教育課長	田原	暁
学校給食課長	西村	明

#### （事務局書記職員氏名）

教育総務室担当課長補佐	出島	ケイ
教育総務室再任用主査	鈴木	勝浩

## 会議の要旨

### ○開会宣言

教育長が開会の宣言をした。

### ○日程第1 議案第27号「児童生徒数の偏在解消に向けて短期的に解決すべき課題への基本的な方針について」

[説明]

(事務局)

資料に基づいて説明

[質疑]

(西村委員)

令和5年度当初の田辺中学校及び培良中学校の生徒数は何人か。

(事務局)

令和5年4月1日現在、田辺中学校は946人、培良中学校は249人。

(藤原委員)

具体的な取組のスケジュールはどうなっているのか。

(事務局)

具体的な取組のスケジュールについては、この方針決定後に決めていくこととなる。

(藤原委員)

田辺中学校の各取組について、内容はこれで良いが、文章の整理をしてはどうか。また、培良中の取組の中で「グローバルチャレンジプロジェクト」「サイエンスフロンティアプログラム」という言葉づかいについても精査した方がよいと考えるがどうか。

(事務局)

ご意見に沿って修正したい。

(西村委員)

培良中の取組に記載されている各項目は、令和4年度実施のものなのか、それとも、計画段階のものなのか。

(事務局)

6月議会に上程される補正予算において議決されたものについては、今年度において実施していくこととしている。

(伊東委員)

田辺中に関して、部活動については、人数がかなり多いものもあり、生徒一人一人の活躍の場面も少なくなりがちで、いわゆる「達成感」が培われに

くいという声も聞くので、それについての配慮や環境整備を望む。

(事務局)

この方針の中で「活動に支障が生じないように」というのは、ハード面だけでなく、取組の実施段階においては、学校とも十分協議して対応していきたい。

(上村委員)

培良中の取組について、盛りだくさんのような感があるが、もう少し絞り込む必要はないか。

(事務局)

これらの項目については、これまで学校とも協議を進めながらまとめてきたもの。複数年かけて実施していくものもあるので、今後PRしていく際にポイントを絞るよう工夫したい。

(教育長)

今回は「基本方針」としてその目標を定めるものである。田辺中学校については、さらに学校とも協議しながらその取扱について具体化することとなるし、培良中学校についても、実施できるものから順次行っていくこととなる。

(西村委員)

培良中の取組について、「少人数」による取組として、授業に関わるもの、部活動に関わるもの、施設設備に関わるものがそれぞれ考えられる。どのように組み合わせていくかも示すことが大切と思う

(藤原委員)

培良中の取組については、広報等の際に、図解など工夫して表現するのが良いのではと考える。

(伊東委員)

両校の取組について、今年度、大きな変化を伴うこととなるので、現場の教職員や子どもたちに十分配慮しながら取り組んでいていただきたい。

(藤原委員)

培良中の取組のうち、先ほど申し上げた「プロジェクト」と「プログラム」という表現については、それぞれ違いがあると思われる。今後進めていく上で、学校との取組にそごがないようにしておくのが良いと思う。

(教育長)

様々な意見をいただいた。

方針の文言や文章の整理等の修正についての意見があり、学校とも調整すべき内容もあったことから暫時休憩とする。

(休 憩)

(教育長)

会議を再開する。

修正案について事務局に説明を求める。

(事務局)

先ほどいただいた意見等に沿って、学校とも調整し、修正案を作成したので説明する。

田辺中学校への対策について、4項目で構成されていたものを、第3項目の文章を2つに分け、全体を5項目とし、順番を見直した。

培良中学校への対策のうち、「グローバルチャレンジプロジェクト」「サイエンスフロンティアプログラム」という語句について、取組のイメージを表現するものとして用いていたが、具体的取組を進めていくことを踏まえた場合に適切な表現とは言い切れないことから削除することとした。

「外国語教育の推進」については、将来的には海外短期留学などの検討も視野に入れることを考慮し、「外国語教育及び国際交流の推進」に修正した。

また、「理系教科の充実」については、「教科」だけでなく、さらに幅広い概念につながる方が良いとのことから「未来につなぐ理系教科の充実」に修正した。

[採 決]

採決の結果、修正案のとおり可決された。

## ○閉会宣言

教育長が閉会の宣言をした。